

突然の積雪や路面凍結時には事故・トラブルが発生しています

冬の安全ドライブには
事前の備えが重要です

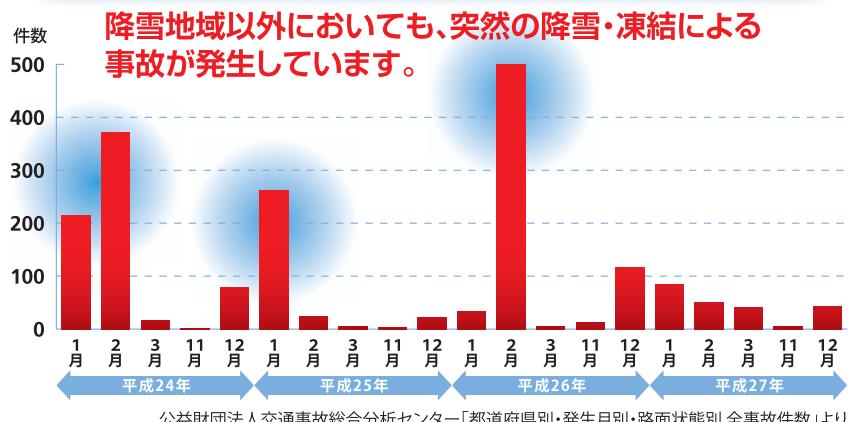
非降雪地域

でも

冬用タイヤの装着
をお奨めします

積雪・凍結路面時の事故発生件数

<東京、愛知、大阪 合計>



降雪地域

では

早めの
冬用タイヤ装着
が大切です

JAFロードサービス救援依頼件数

<関東エリア降雪時>

降雪時、JAFのロードサービスの救援要請は、急増しています。

	関東エリア計	前週比
降雪前週2日間	3,628	
降雪2日間	5,116	141%

JAF ニュースより
降雪前週2日間：平成24年1月16日～17日
降雪2日間：平成24年1月23日～24日

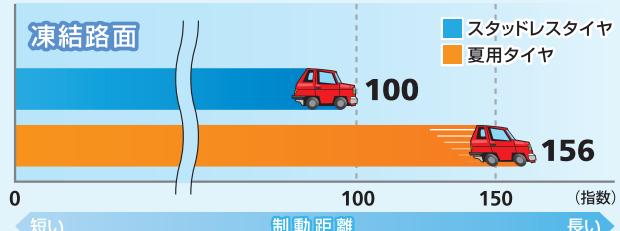
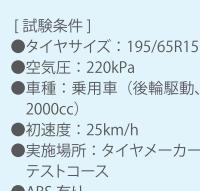
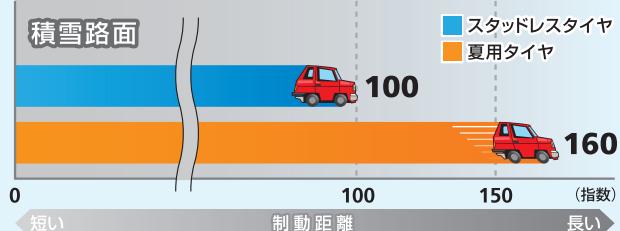
積雪、凍結路で冬用タイヤを装着していないと…



制動距離が違う

夏用タイヤのままででは、制動距離が長くなります。

- スタッドレスタイヤと夏用タイヤの制動距離指数



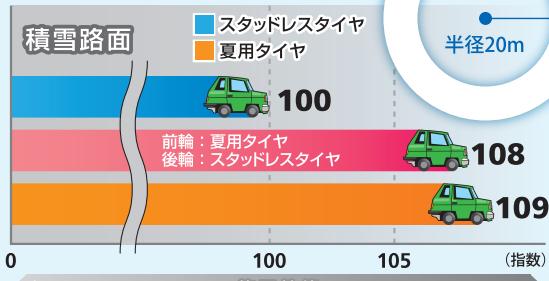
スタッドレスタイヤでの制動距離を100として指数表示し、指数が大きい方が制動距離が長いことを示す。



旋回性能が違う

駆動輪のみ冬用タイヤを装着しても
夏用タイヤ（全車輪）並みの性能で、
挙動が安定しません。

- スタッドレスタイヤと
夏用タイヤの旋回性能指数



スタッドレスタイヤでのラップタイムを100として指数表示し、指数が大きい方がラップタイムが遅くなり、旋回性能が劣ることを示す。

[試験条件]
 ●タイヤサイズ：195/65R15
 ●空気圧：220kPa
 ●車種：乗用車（後輪駆動、2000cc）
 ●路面の種類：積雪路面
 ●ABS有り
 ●実走行による定常円旋回のラップタイムを計測。

冬用タイヤを **全車輪** に装着してください！

冬用タイヤ装着時及び運転時の注意点

- 冬用タイヤを装着する場合は、全車輪に装着してください。

- タイヤは、それぞれのタイプにより運動性能が異なります。従って、タイヤを交換した場合、今まで使用していたタイヤと特性が異なるので、その運動特性に慣れるまで慎重な運転が必要です。また、新品冬用タイヤの場合は、右表の目安で必ずならし走行をしてください。

走行速度	走行距離
80km/h 以下	100km 以上

(乗用車用タイヤの場合)

- 冬用タイヤの積雪または凍結路走行時における溝の深さ使用限度は、新品時の50%(プラットホーム露出)までです。



- 空気圧は、自動車メーカーの指定空気圧に調整してください。

- 冬用タイヤは積雪路及び凍結路面性能を重視しています。特に、乾燥路及び湿潤路で使用する場合は、実際の交通(速度)規制に従い、走行速度に注意し、急発進、急制動、急旋回を避け、安全運転に心がけてください。

- 冬季が過ぎたら積雪路及び凍結路走行に適した冬用タイヤを一般路(乾燥路・湿潤路)走行に適した夏用タイヤに交換することをお奨めします。

もし、夏季も引き続き冬用タイヤを使用される場合は、実際の交通(速度)規制に従い、走行速度に注意し、急発進、急制動、急旋回を避け、安全運転に心がけてください。

積雪、凍結路の注意ポイント

交差点

タイヤでアイスバーンが磨かれて、ツルツルになっていることが多い危険な場所。また、雪の壁で交差点自体が見えないこともあるので注意しましょう。



坂道

下り坂は止まりにくいので、事前に充分な減速を。上り坂では、発進時のアクセル操作を慎重にしましょう。



カーブ

遠心力で車は外へ外へと流れやすくなります。対向車にも気をつけましょう。



橋の上

吹きっさらしの路面は、凍結している可能性が大。橋=アイスバーンと心得て、通過は慎重にしましょう。



トンネルの出入口

眼の明暗順応で先の状況が見えにくいため、路面状況の変化を予測したドライビングが必要です。



日影

氷がいつまでも溶けずに残っている可能性が高い。細心の注意を払って、ゆっくり走りましょう。



積雪、凍結路面における防滑措置

- 都道府県道路交通法施行細則または道路交通規則にて積雪または凍結した路面での冬用タイヤの装着等いわゆる防滑措置の義務が規定されています。(沖縄県を除く)
違反行為は、反則金の適用となります。(大型: 7千円、普通: 6千円、自動二輪: 6千円、原付車5千円)